

令和6年

6月1日開催

資料 3

第4回の内容

子どもの権利について‘もっと’考えてみよう!!!

内容

「子どもの権利」や「子どもの権利条例」 についてみんなで考えたよ

第4回目の子どもワークショップを6月1日に開催したよ。30人の参加者がのむさん(野村先生)と一緒に「子どもの権利」や「子どもの権利条例」の大人の役割について考えたよ。今回は、内容を紹介するね!



今回の参加者は30人!
いつもよりすこし少なかったよ

当日の流れ

- ① アイスブレイク
「名前集めゲーム」
- ② 前回までの復習
「ブランコの話」
- ③ ハナちゃんとボビーによる劇
「大事なものを貸したけど…」
- ④ グループワーク
「権利のためには何が必要?」
- ⑤ 動画視聴
「ねこちゃん」「サッカー」
- ⑥ 第2回の復習
「6つの子どもの権利」
- ⑦ グループワーク
「6つの子どもの権利」を踏まえて
「大人がしなければならないこと」
- ⑧ 大人が考える
「大人がしなければならないこと」
を見てみよう

子どもの権利について考える

子どもの権利条例

①アイスブレイク

「名前集めゲーム」

- ① 紙とペンを用意
- ② 会場内の参加者同士でじゃんけん
- ③ 負けた人は勝った人の紙に名前を書く
- ④ 制限時間内でより多くの人の名前を集めたら勝ち



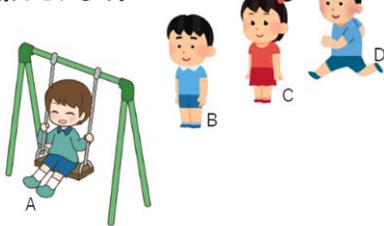
大人も一緒にじゃんけんしたよ

子どもも大人も一緒に盛り上がったよ! 3分間で12人の名前を集めた強者も

②前回までの復習

「ブランコのお話」

Aさんが、公園に一つしかないブランコに乗っています。



考えてみよう

Bさん、Cさん、Dさんは
ブランコに乗る権利がある?

Aさんはどうしたらいい?

「権利」について、 大切なこと

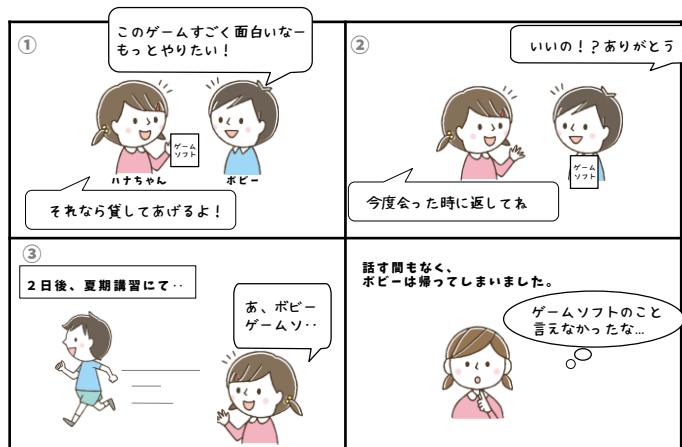
- 権利は言わないと実現しない。言わないとないのと一緒にいる。
- どっちにも権利があるというとき、相手の権利を考慮することが大切な時がある。

③ハナちゃんとボビーによる劇

「大事なものを貸したけど…」

(あらすじ)
明日から夏休み、みんなウキウキしています。
ボビーはハナちゃんから、大切にしているゲームを借りました。

当日の劇を漫画にしてみたよ!
右の絵を見てみよう!



2人の言い分



「今度会った時返して」って約束したのに
わたしもあのゲームをやりたいのに...


ハナちゃん


夏休みの間借りられると思ってた
夏期講習でハナちゃんに
会う予定じゃなかった



ボビー

まとめ

ハナちゃん  には、ゲームを返してもらう“権利”があります。

ボビー  には、ゲームを返す“義務”があります。

「権利」と「義務」

権利＝「求めることができる」（「返して」って言うことができる）

義務＝「しなければならない」（返さなければならない）

それぞれに言い分があるとき、権利を持っている人が求めず、義務をもっている人がなにもしなければ、**権利がないのと同じことになる**



ハナちゃんが「返して」て言わず、ボビーが返さない。そうすると
ハナちゃんにある“権利”は、ないのと同じじゃ！

じゃあどうしたらいいの？

ボビー（義務がある人）に返してもらえらるまで、何度も求めるのじゃ！

それは、つらいな...

権利を持っているのって、実は「つらい」んじゃ

つらい時は、だれか（先生など）に助けを求めてよい解決方法を見つけてもらうのじゃ



④グループワーク

4つの権利分類シートを使って、
グループで考えよう



4つの権利分類シート

子どもの権利のためには何が必要？考えてみよう



「何が必要か」をグループで考えて



グループごとに発表したよ



発表で出た意見を一部紹介

- ・ 経済的な理由で、衣食住や希望の進路の制限を受けない
- ・ 大きすぎる不安（ヤングケアラー等）から守られ、好きなこと、勉強ができる時間が確保されていること
- ・ 自分の意見を聴いてもらえる人・環境（両親、カウンセラー、自分を理解してくれる人、アンケート、雰囲気等）
- ・ 子どもの意見が反映される仕組み
- ・ 嫌な思いをしたときに、親や友達にばれることなく気軽に相談できる場所
- ・ そもそもつらい思いをしない環境

⑤動画視聴「ねこちゃん」「サッカー」（東京都が作成した動画）を見て「子どもの権利」を考えよう



みんなで動画を見たよ

動画を見て、次のことをみんなで考えよう

- ・ 何が大切というお話かな？
- ・ この後、どうなると思う？
- ・ 子どもの意見のために何が大切？

動画はココから見ることができよ▼

Youtube
子供政策連携室
チャンネル

「ねこちゃん」



「サッカー」



「子どもの権利」
を守るためには

「大人がどうするか」というのがとても大事

⑥ 第2回ワークショップの復習 「6つの子どもの権利」について

第2回のワークショップで取り組んだ『大人*が考えた「子どもにとって大切な権利」についてグループで話し合い』の際に使用したワークシートの結果をまとめたものを使って、「6つの子どもの権利」についてふり返りを行ったよ
(*子どもの権利擁護に関する審議会委員)



第2回ワークショップ使用したワークシート

「6つの子どもの権利」

- ① 安心して生きる権利
- ② 自分らしく生きる権利
- ③ 育つ権利
- ④ 意見を聴かれる権利
- ⑤ 守られる権利
- ⑥ 個別の必要に応じて支援を受けられる権利

覚えてるかな？



他の人の意見を見て振り返ったよ

⑦ グループワーク 「6つの子どもの権利」をふまえて、大人がしなければならないことを考えよう

「6つの子どもの権利」を実現したり、守っていくために、「大人」がしなければならないことを場所ごとに考えたよ (ワークシート①)

「場所ごと」って

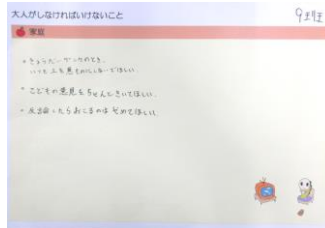


同じ大人でも、お父さんやお母さんにやってほしいこと、学校の先生にやってほしいことと違ってくることもあるよね。そこで、大人*が考えた子どもがいる場所ごとに「大人がしなければならないこと」を考えてもらったよ。(*子どもの権利擁護に関する審議会委員)

〈場所〉

- 家庭 (保護者)
- 地域
- 【育ち学ぶ場所】
- 区
- 学校
- 児童館
- 図書館

ワークシート①



内容を資料4にまとめたよ!



場所ごとに考えて記入



グループでまとめたシートを発表



⑧ グループワーク 大人が考える「大人がしなければならないこと」を見てみよう

「皆が考えた『大人がしなければならないこと』」(ワークシート①)と、「大人が考えた『大人がしなければならないこと』」(ワークシート②)の内容を比べてみて、「大人が考えたもの」に足りないものがないかグループのみんなで確認したよ。

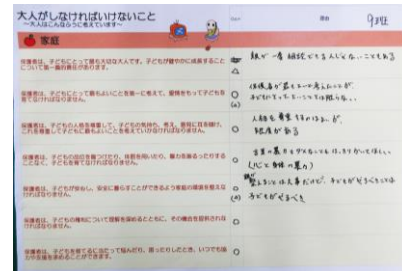


大人が考えた内容に「○(良い)」「△(イマイチ)」「×(違う)」で回答したよ



書いてある内容が難しいところは大人に教えてもらいながら考えたよ

ワークシート②



内容を資料4にまとめたよ!

どうしたら「子どもの権利」が守られるかを考える時に参考にしよう!



ワークショップで出た意見は「子どもの権利擁護に関する審議会」の大人に伝えるよ!